



平成29年度 国際理解セミナー 2017/10/26

本校では、国際理解教育推進委員会が中心となり、生徒が、世界が抱える様々な問題の現状を知り、課題に気づき、考え、自分にできることを実行できる姿勢を育む教育の一環として、年に一度「国際理解セミナー」を実施しています。

10月26日(木)の5・6限目を使い本校体育館において、国際理解セミナーを実施しました。講師に早稲田大学教授、特定非営利活動法人エコプラス代表理事、野外活動家、環境教育研究者の高野孝子氏をお招きして、「地球、北から南からー今は未来とつながっている」という演題でご講演をいただきました。高野氏は講演で、ご自身の今までの活動経験を踏まえて「冒険とはCゾーン (comfortable:快適な・心地よい、安全・安心・知っている・慣れている・楽な気持ち・出来る・予測できる範囲) を越えることです。自発的行動で、Cゾーンを越えて (未知のこと・リスクがあること・不安なこと・予測できないこと・心地悪いこと・不慣れなこと・ハラハラドキドキすること・予測できないことを越えて)、広げることが成長といえます。今の皆さんのアクションが必ず未来につながります。まず、一歩進んで欲しい。」と生徒たち呼びかけました。



講師の高野先生を紹介する荻野校長



講演時の様子：自らの体験を話す高野先生

生徒の感想

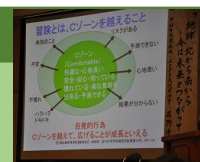
【1年生】

- ☆Cゾーンを超すことがどれだけ良くて大切なことなのか分かった。自分の人生をよくするためには、Cゾーンを超すことが大事だと分かった。
- ☆今日の国際理解セミナーを受けて身に染みてわかったことが2つあります。1つ目は、命の重さです。画像と話を聴いただけで食べ物大切さを知ることができました。2つ目は、世界に目を向けてみればいろんな人がいるんだということを知ることができました。
- ☆実際、先生は活動していっぱいなので、話に臨場感というリアリティがあって面白かった。



【2年生】

- ☆自分から何か行動を起こさないと変わらないんだと改めて感じさせられました。
- ☆自分もCゾーンを少しでも広げられるように苦手なものや嫌いなものを減らしていきたいと思いました。
- ☆小さなことからでも、チャレンジしていくことが大切だと分かりました。



【3年生】

- ☆「壁は自分で作っている。」という言葉が心に刺さりました。言い訳はもうしません。
- ☆先人の行いを理解することや、異国の地域の人々や文化を学ぶことの大切さを実感できた。私も国際理解を深めたいと思った。
- ☆今までいつもと変わらない変化のない毎日が好きで、何でも新しいことは初めから毛嫌いするタイプでしたが、今回のお話を聴いて、変化も好きになっていこう冒険してみようと思えました。



講師の高野先生に、生徒を代表して花束を贈呈する生徒会長の綿引くん